

2020年6月26日

各位

株式会社 北海道建設新聞社  
一般財団法人 日本不動産研究所

## 北海道の医療関係者への応援メッセージを電子地図で紹介

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご厚情を賜り、厚くお礼申し上げます。

北海道建設新聞社と日本不動産研究所は、電子地図を使った情報プラットフォーム「e-kensinマップ」を活用し、北海道が展開する「ブルーライトアップ」プロジェクトを応援します。

このプロジェクトは、青色のライトアップで新型コロナウイルス感染症対応の最前線を支える医療従事者のみなさまに、感謝の気持ちを届ける北海道の取り組みです。緊急事態宣言の解除から1か月を経過した6月25日に、札幌市内8箇所で、青色のライトアップを行い、その気持ちを示しました。

私たちは、北海道に全道、全国から寄せられたメッセージを、発信者の地域ごとに電子地図にまとめた特設サイトを6月26日から公開し、このプロジェクトを支援してまいります。特設サイトは以下の通りです。インターネットを通じパソコン、スマホ、タブレットで閲覧できます。

### ブルーライトアッププロジェクト特設サイト

(URL) <https://www.e-kensin-map.net/?map=0>



## □「e-kensinマップ」について

北海道建設新聞社と日本不動産研究所が共同開発した、電子地図をベースにした情報共有プラットフォームです。土地に関する様々な情報を、電子地図上に集約し、直感的に把握できるようにしました。都市開発のニュース、都市計画情報、地番図、防災情報など、土地利用や不動産開発の分析を中心に、情報の集積を進めています。今回は「ほっかいどう応援団会議」の一員として公共貢献の一環で、北海道へ電子地図プラットフォームを提供いたしました。

## □ブルーライトアッププロジェクトについて

医療従事者をはじめとする社会に必要なエッセンシャルワーカーのみなさまに、新型コロナウイルス感染症への対応への感謝のメッセージを届ける北海道のプロジェクト。6月25日には、その気持ちを表現するた北海道赤レンガ庁舎など札幌市内8箇所の施設で青い色のライトアップを行いました。取り組みは下記のホームページで紹介しています。

(URL)[http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tkk/blue\\_pj.htm](http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/tkk/blue_pj.htm)

## □ほっかいどう応援団会議について

「ほっかいどう応援団会議」は、北海道にゆかりや想いのある企業・団体や個人をつなぐネットワークで、道や市町村が抱えている地域課題の解決を通じ地域活性化を図る取組です。北海道建設新聞社、日本不動産研究所は、その趣旨に賛同し、「ほっかいどう応援団会議」に参加しています。

**本件に関する問い合わせ先**  
(月～金曜日：9:30—17:00)

**株式会社 北海道建設新聞社**  
**GIS事業推進室**  
電話 011(611)6311

**一般財団法人日本不動産研究所**  
**企画部企画グループ 幸田**  
電話 03(3503)5330